



さくぶんぶもんじゅうしやうさくひん

作文部門入賞作品

ないかくそうりだいじんしやう

内閣総理大臣賞



すいでん

水田のオーケストラ

いばらきけんちくせいしりつふるさと

茨城県筑西市立古里小学校6年

ところ

戸頃

ゆい

結

私は、ごはんと同じくらい西洋のクラシック音楽が好きです。いつも私のとなりには相棒のピアノがあつて、素敵な音楽に囲まれた生活をしています。豪かなオーケストラの演奏以外にも、私たちの周りには興味深い音楽があふれています。私は、ちょっとした好奇心から、お米作りと音楽の結び付きの可能性を探りたくまりました。私は、ゆつくりと目を閉じて、心を落ち着かせて、水田に耳をすませました。すると、静かな水田から四季折々の様々な音楽が聞こえてきます。水田には、ときにはユニークで、ときには楽しく、そしてときには心をいやしてくれる、そんな多彩なオーケストラがひそんでいるようです。

私の家の目の前には、雄大な筑波山を背景にした水田が辺り一面に広がっています。普段は気に留めない水田の音でも、注意深くきくとリズムをともなった連続的なせん律が聞こえてきます。春の季節には、水田からは土をうるおす水のせせらぎが聞こえてきます。すんだ水の流れる音は、心にうるおいを与え、どこか生命力を感じさせます。水田にセキレイが訪れると、チッチチツといったかわいらしいさえずりも聞こえてきます。それは私の心を和ませてくれます。夏の季節には、水田から風にゆれる稲の音が聞こえてきます。丈夫に育った稲の葉の間に緑風が吹いて、サラサラと優しい音を奏でます。それは、私をさわやかな気持ちにさせてくれます。また、星

空の夜には、水田に生まれたカエルたちのケロケロ、クワツクワツといった大合唱が聞こえてきます。声楽家のように堂々と歌うカエルたちの歌声は、自由ながらも同一のせん律をくり返して、まるで輪唱をしているようです。水田は夕立のときにも音を奏でます。大つぶの雨がザーザーと稲の葉を打つ音は恵みの雨を喜んで稲たちがさわぎ出したようです。秋の季節には、黄金色の重そうな稲ほが大きくゆれるワサワサといった音が聞こえてきます。鈴虫の鳴き声をアクセントにして幻想的な楽曲をアンサンブルしているようです。しかし、冬の季節には、水田の稲はすっかり収穫され、水はなくなり、季節の小鳥たちも冬眠の時期をむかえます。ひっそりと静まり返った水田からは、木がらしが吹いたときのかわいた音だけが聞こえてきます。それは、寒さときびしさを感じさせます。そのようなときには、にぎやかな水田のオーケストラも、春の交きよう曲の演奏に備えて一休みです。きっと来春のコンサートに向けて、新しい楽曲の創作にいそんでいるのだと思います。

水田がおりなす音楽には、豪かなオーケストラとは違った音楽の美しさと楽しさを感じられます。それらは、四季折々の稲たちの気持ちを表現しているようです。きっと、こんな素敵な演奏ができるのは、豊かな自然環境が育んだオーケストラだからなのだと思います。